

平成25年産米集荷状況

平成25年産米集荷数量は、27,001本と平成24年度同時期より754本減少しております。

等級では、1等の割合が23.5%となり、平成24年度の57.3%を大きく下回る結果となりました。

等級低下の要因は、生育後期の猛暑による高温障害と早期落水による整粒不足や充実不足、及びカメムシ類被害が影響したと思われます。

平成26年産米への対策

近年、地球温暖化による猛暑の影響で白未熟粒が多く発生し、等級落ちとなっております。

高温障害により登熟不足になると小米が多くなり収穫量が減少します。登熟条件を向上させる為には、水管理が重要です。間断灌水を心掛け、夜間気温が高くなると予想される場合は、走り水をおこなうことも効果的です。

また、土壌改良資材の施用は、根の活性化を高め稲の栄養状態をよくします。土づくりをしっかりとおこなうことで、高温障害に対する抵抗力も強くなります。広報誌（10月号）でも紹介しました、土壌改良資材「粒状エコ鉄ちゃん」「とれ太郎」を施肥して健康な稲を作りましょう。

毎年、中山間地ではカメムシ類被害による着色粒（斑点米）での等級落ちが多くなっております。薬剤散布での防除が基本となりますので、各地域での出穂の状況を把握し、「スタークル粒剤」や「トレボン粉剤」など適期防除に努めて下さい。

宮農

インフォメーション



EINOU

information

平成25年産米の報告と 次年度に向けた対策

農業用廃プラスチック類回収について

農業用廃プラスチック類（使用済み農業用ビニール資材など）は産業廃棄物です。

当JAでは、農業用廃プラスチック類の適正な処理を推進するために回収・処理いたします。回収・処理には産業廃棄物処理法に基づく権限の委任状が必要となりますので、事前又は搬入日に印鑑を持って契約をお願いします。

委任状は各支店・センター窓口でお渡しします。詳しくは各支店・センターまでお問い合わせ下さい。

- ①対象品目 ビニールハウスのビニール・黒マルチ・畦シート・農業用ビニール・育苗シート・育苗箱・肥料袋・農業用ポリなど **※農薬の空容器は対象外です。**
- ②持込期間 平成26年2月3日（月）～8日（土）10時～15時
※持込場所により持込期間が異なります。
- ③持込場所 ・箕面市・豊中市・池田市管内購買店舗及び豊能ライスセンター …… 2月3日（月）～5日（水）
・能勢ライスセンター …… 2月6日（木）～8日（土）
- ④処理料金 1kg当たり55円（税込）（持込日に現金でお支払いをお願いいたします。）
- ⑤持込み方 持込みされる農業用廃プラスチック類は泥等を取り除いて、肥料袋に入れるか紐で結ぶ等確実に荷造りをし、kg数を明記のうえ搬入して下さい。（1kg未満は切上げ）

※農業用廃プラスチック類以外の物（金属、木くず、布など）は絶対に入れないようにお願いいたします。